

公表:平成 31 年 3 月 27 日

総数:19名
(100%)

事業所名:(社福)上田明照会 蓮の音こども園

チェック項目		はい	いいえ	NA	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	17	2		・H30～新築建物での運用開始した。 ・クラス以外の部屋も有効活用している。	・活動内容により、子どもが集中出来る環境設定に努めます。 ・園内の環境を最大限に活用します。
	② 職員の配置数は適切であるか	19			・当日の出席や個別状況に応じて、安全に支援ができるようにしている。	・法令で定められている配置数は満たしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1		・個別に応じた視覚支援・パーテーションを適宜活用している。 ・個々への配慮には、更なる工夫の余地があり、検討を重ねている。	・新園舎になり、園内バリアフリー化と共に設備が充実しました。 ・子どもの特性に応じた、生活動線の確保と生活のしやすさについて、子どもが理解し動ける環境作りを努めます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1		・定時での環境整備、衛生管理に取り組んでいる。 ・小集団で、個々に活動しやすい環境確保。	・室内外環境の清掃、使用する物品の定期的な清拭を行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16	2	1	・活動や個人の目標を共有して取り組み、日々振り返りを行っている。	・定期的な職員会議の開催やリーダー会議などを行い、情報の共有や業務の検証を重ねていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16	2	1	・保護者の思いを聴取し、改善すべき点については管理者を含め協議検討している。	・保護者向け評価を実施し、集計しました。その内容に基づき、業務改善に努めます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	10	3	・評価項目そのものの理解度に職員間でも格差がある為、会議での説明周知を行う。	・法人ホームページ上に掲載します。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	14	2	・H17年度以降、受審していない。	・H32年度、第三者評価受審予定です。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	1		・個人の研修をバックアップし、事業所内部研修及び法人研修を企画している。	・年間計画に基づき研修を企画し、学びの機会の保障と支援の質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	17	2		・個別支援計画作成の為に会議を開催し、児童発達支援管理責任者を中心にチームで目標設定している。	・6ヶ月に1度個別支援計画を作成します。定期的にアセスメントを行い、ニーズ・課題を把握した上で、個々の発達に即した計画作成に努めます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17	2		・応用行動分析・ICF・遠城寺式乳幼児分析的発達検査を導入している。	・個別に応じたアセスメントツールを使用し、客観的な子どもの発達評価を行います。効果的な支援方法を職員間で共有して行きます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	2		・ガイドラインを確認しながら、計画作成に努めている。 ・発達支援・家族支援・地域支援のそれぞれの項目から必要な目標を設定している。	・ガイドラインを熟読し、さらに理解を深める必要があります。ご家族との共有にも努めます。 ・計画書の書式についても、読みやすさ、わかりやすさについて検討し改善を図ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19			・個別支援計画に基づき、月目標を設定し、共通した支援方法で実践している。	・さらに努力を重ねていきます。

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	7	1	・クラスリーダーを中心に意見交換しながら、立案している。	・常勤職員中心の立案になりがちなため、全職員での協議検討に努めます。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	2		・季節に合わせた内容を工夫している。 ・子どもの知的好奇心を大切にしている。	・子どもの興味関心に応じた内容を取り入れ変化をもたせながら行う事の意義、変えずに繰り返し行う事の意義も大切に捉えています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	18	1		・個別課題への取り組みや、集団活動においてもグループ分けするなど、工夫している。	・個別・集団という分類まで、支援計画まで落とし込んでいません。今後検討していきます。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	2		・ミーティングを定期的に行い、不在の職員には個別に伝達できるようにしている。	・情報伝達が適切に行われず、周知しきれていない場合がありますので、改善に努めます。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	7		・情報の共有に努めているが、漏れのある場合がある。話し合いの時間を工夫して共有の工夫をしている。	・情報伝達が適切に行われず、周知しきれていない場合がありますので、改善に努めます。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	1		・毎日記録をし、特記事項については詳細記入している。	・法人共通のソフトを使用し、ケース記録を管理し記録の質の向上に努めます。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	1		・定期的なモニタリングを実施している。	・モニタリングで把握された改善を要する内容については、今後も適正に対処させていただきます。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	2	1	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加し、関係機関との連携を図っている。	・会議の内容により、参加者の選任を行い、最も効果のある会議になるよう努めていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18	1		・市町村の保健師等が来訪し、子どもの様子の確認等を行い、地域との関係を維持している。	・状況の判断により、連携すべき部署と適宜関わり、家族の安心・安全な生活が実現するよう努めていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	18	1		・定期的な支援会議を開催し、状況の確認を行っている。 ・看護サマリーを通して、様子を把握し、医師の指示の元対応している。	・相談支援専門員が中心となって招集された会議で、関係各部署との情報の共有に努め、地域生活が安全に送れるよう努めます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	18	1		・看護師と連携しながら、連絡体制を整えている。	・入園前より、病院からの情報提供を受け、医師の指示により、受入れ体制の確保と支援内容について検討していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		1	・移行支援として、保護者の了解を得て、移行先に情報提供している。 ・移行支援会議の開催。	・移行前準備として、様々な体験の機会を確保し、新しい環境への適応促進が図れるよう準備します。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		1	・情報提供書の作成及び、移行支援会議で内容の確認を行っている。	・双方を訪問し合い、スムーズな移行が出来るよう努めます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	16	1	2	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に連携を図り、現場に繋いでいる。	・各種必要な研修等に参加し、支援の質の向上に努めています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19			・隣接する保育園児と日常的な関わりがある。	・個々の状況により、地域での交流の機会の確保や前段階として隣接保育園との交流については、今後具体的に検討していきます。

	⑲	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16	2	1	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	・管理者が各種協議会等の会議に参加しています。
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	1		・送迎時を中心に保護者との情報共有に努めている。 ・日々の様子は連絡帳に丁寧に記録している。	・定期的面談等を行い、情報の共有に努めています。定期面談以外にも、状況の変化等が認められる際には、随時面談機会を設けます。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	14	3	2	・保護者向け学習会を企画し、情報を提供したり、支援内容に関心を持って頂けるよう工夫している。	・ペアレントトレーニングを園内でも行えるよう、準備していきます。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	2		・入園前、個別に時間を設け、説明の機会を作っている。	・契約時には、丁寧な説明を心がけます。
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	2		・6ヶ月に1度(新規利用児は中間評価も行う)作成する個別支援計画については、その都度個別面談を行い、説明している。	・今後も丁寧な説明を行い、ご家族の同意のもと支援を展開していきます。
	㉔	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	19			・担任レベルで解決が難しい事例については、管理者等も交えて対応している。 ・個別面談を行う。	・日々の観察を丁寧にいき、変化への気づきの視点を磨いていきます。相談の窓口はいつでも開けておくようにします。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16	2	1	・保護者主導の親の集いをサポートして、定期開催されている。	・会への参加を望む保護者も、望まない保護者もいる為、各人の意思を尊重しながら、横の連携が円滑に進むよう、協力していきます。
	㉖	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19			・日頃のやり取りで、連絡帳に相談内容が記載される事も多い。適切に対処できるよう、心がけている。	・今後も迅速丁寧な対応に努めていきます。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1		・クラスだよりを通じて、日頃の支援内容の目的等も踏まえ、発信している。緊急連絡網システムの活用もしている。	・限られた紙面の中では、伝達内容が不十分な記載部分もある。今後定期的文書の発信について検討していきます。
	㉘	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19			・個人情報の外部持ち出しを禁止している。	・今後も職員教育を強化し、情報管理について適切に対処できるよう努めます。
	㉙	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	1		・実物を示したり、書面に起こして対応している。 ・関わりを丁寧にし、意思の確認を行っている。	・合理的配慮について、職員間で共有確認しながら、丁寧な対応を継続します。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	8		・H30年度は新園舎となった為、地域の方に多数園舎見学をしてもらえた。	・通園そのものを公表したくない希望を持つ保護者もいることから、意向に沿って地域交流を進めていきます。
	非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	15	2	・一部マニュアルはダイジェスト版を作成し、各家庭に配布した。 ・防犯訓練、感染症予防等定期的に見直しを行っている。
㉜		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18		1	・火災・地震・風水被害等、様々な非常事態に備え訓練を行っている。	・月に1回の訓練を行い、その都度振り返りを行い、非常事態に備えています。
㉝		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	17	1	1	・全員対象で年度当初に、健康カードを更新し、看護師と面談を行っている。	・看護師を中心に個々の健康状態を把握し、安全に園生活が送れるよう服薬管理を含め対応していきます。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	18	1		・診断書の提出により職員間で情報を共有し、手順に従って、安全に食事の提供をしている。	・管理栄養士・看護師と情報共有し除去食品の把握をし、代替食を提供するなど、安全管理に努めます。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	7		・ヒヤリハットが起こった際には記録をとり、検証を行っている。	・事例の蓄積から、全職員で予防に努めていきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19			・定期的に研修に参加し、支援の振り返りを行っている。	・法人内に虐待防止委員会を設置し、研修の機会を確保しています。 ・必要な関係機関と連携し、研修を重ねていきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	13	1	・身体拘束の範囲の理解が曖昧であり、認識に格差があるため、現状に即した情報共有を適宜図っている。	・身体拘束について、組織的に決定することにより、子どもや保護者への説明・計画書への反映に努めています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。